

H31年冬山合宿 双珠別岳 山行記録(スノーシュー班)

(26、27日一泊合宿記録は別紙参照)

山行日	H31年1月26日(土曜日) 日帰り
山行形式	スノーシュー
参加者	藤木たかりーダー 西田(昌)、増川
天候	曇りの時々晴れ 微風
時間	(行き) 幌別岡志別 6:00 → 日勝峠7合目車止め 9:40 (帰り) 日勝峠7合目発14:30、→ 幌別着 19:00

(1月26日 土曜日)

(6:00)

岡志別運動公園に苦小牧組の2人を除き全員集合、車4台で出発。夜明けも少し早くなり、あまり見たことのない、きれいな朝焼けを見て、綺麗ね～、きれいだね～と言いながら苦小牧西インターで相馬、門馬さんを乗せて日高道の駅に向かう。1月末なのに途中の道路には雪が無く、夏道の運転です。「日高日勝峠周辺、今年は極端に雪が少なく笹やブッシュが出ていますよ」との情報が有り、スキーできるのか心配しながら日高道の駅に向かう。



この様な朝焼けでした

(8:50)

日高樹海ロード道の駅に着き、コンビニ買物、トイレタイム後、リーダー会議により、予定を変更し「日勝ピーク」でなく2日目に予定していた「双珠別岳」に登る事になった。

(9:40)

日勝峠7合目、除雪された広い駐車場が有り、向いながら取付いた。準備体操後、スキー班を先頭に林道を進む。積雪は1m位かふかふか雪にスノーシューが沈む。「私はめまいがしたのかな？」



峠7合目からの取付き
後ろの山は沙流岳です

(11:30)

林道から尾根に取り付き登るも、ますます沈み、これ以上は無理という事で標高1050m地点で残念ながら下山となった。

(12:45)

駐車場に戻る。車の中でゆっくり昼食をとり、スキー班が戻るのを待つ。
(14:05スキー班到着)

(14:45)

日高研修所に戻る、一日目の合宿終了解散、帰路へと。途中びらとり温泉ゆかりに「ゆったり、ゆっくり」とつかり、今度はまたまた、きれいな夕焼けを見ながら帰宅しました。ドライバーの太田さん長距離お疲れ様、ありがとうございました



木枝の雪、幻想的です



約2Kmの長い林道です



スノーシュー3人組

(記) 増川

(写真は西田挿入)